

# 人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ！



本市は、令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます。現在、地方都市はこれまで経験したことがない急速な人口減少と少子高齢化という大きな課題を抱えており、本市も例外ではありません。この先100周年、200周年と、将来にわたって持続可能な白石市を創るためには、変化を恐れずに新たな施策に挑戦していかなくてはなりません。

昨年4月には、地域医療を将来にわたって安定的に確保するため、これまで一市二町組合で運営していた公立刈田総合病院を市立病院化し、指定管理者制度の下で公設民営の病院として生まれ変わりました。

これからも、地域の基幹病院として、地域ニーズを的確に反映し、皆さんが安心できる持続可能な医療提供体制を構築してまいります。

同じく昨年4月、子どもたちの多様な学びの機会を確保するため、教育機会確保法施行後全国初となる小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」を開校することができました。

きぼう学園に対しては、児童生徒や保護者の皆さんから大変にご好評をいただくとともに、日本全国の行政・教育関係者からも熱い関心が寄せられています。新たな事業を軌道に乗せ、将来にわたって安定的に進めていくためには、2年目が重要だと考えていますので、令和6年度もしっかりとこれらの事業を進めていきます。

令和6年度には、「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」の工事が、早期供用開始に向けて本格的にスタートします。周辺整備事業も、道の駅・防災公園のPFI事業者の選定を開始し、令和9年の開業に向け事業を推進します。

「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」は、新たな企業誘致や既存企業の活動支援をはじめ、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害時の安全確保など、さまざまな相乗効果が期待できる「地域活性化の起爆剤」であり、地域経済の発展、市民サービス向上の好循環創出につながるものと確信しています。

本市には、大小さまざまな市政課題が山積しておりますが、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」を実現し、将来にわたって持続可能な白石市を創るため、決して市政課題を送り出すことなく、令和6年も市民の皆さんとともに、積極果敢に挑戦を続けてまいります。

※施政方針の全文は市公式ホームページに掲載しています。

## Target 4 安全・安心を守る



- 防災・減災対策の充実**  
「白石市地域防災計画」に基づき、東日本大震災や令和元年東日本台風などの災害を教訓とし、さらなる防災体制の充実を図り、あらゆる情報の迅速な収集・伝達の強化に取り組めます。
- 交通安全・防犯対策の充実**  
交通ルールの遵守やマナー向上を図るため、交通安全関係団体と連携し、交通安全指導を実施することで、子どもや高齢者など交通事故を未然に防ぐよう努めます。
- 地域における防災力の強化**  
災害発生時の被害軽減には、地域住民同士での助け合いである「共助」が不可欠であることから、自主防災組織への支援を継続し、地域防災力向上を図ります。

## Target 5 活力・賑わいを創る



- 農林業の振興**  
「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」を引き続き支援し、「白石三白野菜」をはじめとする農林産物と6次化商品の情報発信を積極的に実施し、ブランド化・高付加価値化を推進します。
- 「仙台南部工業団地」企業募集**  
「仙台南部工業団地」への企業募集を開始していることから、新たな企業誘致を推進するため、企業訪問やトップセールスにより、本市への立地環境や投資環境の優位性などを積極的にPRしていきます。
- 交流活動の推進**  
登別市・海老名市・札幌市白石区との姉妹友好都市交流を推進します。特に本年は海老名市との姉妹都市提携30周年を迎えることから、市民訪問団派遣や式典の開催などの記念事業を実施します。

## Target 6 まちの未来を描く



- 豊かな自然環境の維持**  
「第3次白石市環境基本計画」に基づき、本市が目指す環境の将来像「水とみどりを誇るまち しろいし」実現のため、自然環境と生活環境に配慮した事業を推進します。
- 道路・公共交通の整備**  
将来にわたって市民が安心して暮らし続けることができる公共交通確保に努めるとともに、既存の公共交通では対応できない山間地域などの地域内交通の課題解決に向けて、住民が主体的に実施する活動を支援します。
- 魅力ある都市空間の整備**  
市中心部の交通ネットワーク機能の強化と通学路の安全確保を図るため、都市計画道路白石沖西堀線事業の実施設計業務を進め、早期の完成を目指します。